



▲近藤員代さんとご主人の正和さん

枕崎のふるさと情報を発信

～近藤さんが、県アマチュアビデオ作品コンクール最優秀賞

MBCふるさと特派員として、枕崎の情報を数多く発信している近藤員代さん（国見町）が、本年度の県アマチュアビデオ作品コンクールにおいて、最高賞の最優秀賞に輝きました。

受賞作品の「汚れた川をきれいにしたい!」は、馬追川をEM菌だんごで環境浄化する活動を数か月間にわたり取材し、制作したものです。来る3月9日の本市生涯学習フェスティバルの際に、市民会館で上映しますので、ぜひご鑑賞ください。

「これからも、枕崎のよさをビデオに撮っていき」と今後の意欲を述べられる近藤さん。先日から花き農家の取材をしているということ。また、枕崎のよさが発信される日も間近のようです。



▲戸床安孝公民館長(左)と中嶋洋幸副館長(右)

地域活動が実を結び優良団体表彰

～県コミュニティづくり推進優良表彰で塩屋公民館に表彰

塩屋公民館の、永年にわたる明るく住みよい地域づくりの取り組みが認められ、平成19年度鹿児島県コミュニティづくり推進優良団体として表彰されました。

平成19年度は、県内から12団体が表彰を受けましたが、南薩地区からは、塩屋公民館のみが表彰されています。

塩屋公民館では、青少年への笠踊りや四ツ竹踊りの伝承活動、十五夜編練り・綱引きの伝統行事が地域住民絡ぐるみで行われています。また、自主防災組織の訓練や独居高齢者宅への定期訪問等、コミュニティ形成に向けた様々な活動を行っています。



▲大園優里さん(左)と神門百香さん(右)

全国大会、頑張ってください!

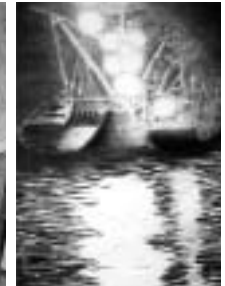
～金山ソフトテニス少年団のペアが県大会3位

第7回全国小学生ソフトテニス大会県予選が1月20日に行われ、4年生以下が出場する部で、金山ソフトテニス少年団の神門百香さん（金山小3年）・大園優里さん（同2年）ペアが3位に入る活躍を見せました。これにより、3月に千葉県で行われる全国大会への出場権を獲得しています。

同スポーツ少年団の部員は、金山小のほか桜山小、知覧町の小学校の児童合わせて9人で、週4回の練習に励んでいます。全国大会への抱負について神門さんは、「県大会では声が出せなかったけど、全国大会では声を出して頑張りたい」、大園さんは「練習の成果を出して、打ったらすぐ構えて試合に勝ちたい」と語ってくれました。



▲中釜幹敬さん



▲受賞作品「巾着船」

水墨画で描く枕崎の風景が快挙

～中釜幹敬さんが全国公募の水墨画展で経済産業大臣賞

日本・中国水墨交流協会が主催する第25回日中水墨画合同展において、中釜幹敬さん（泉町）の描いた作品「巾着船」が、経済産業大臣賞を獲得しました。

この水墨画展には、全国から400点あまりが出展されており、同賞は上から5番目という快挙です。

作品は、枕崎港に停泊している船を描いたもので、「ボディブローのように徐々にすばらしさが伝わってくる」という講評をいただいたということです。

中釜さんは、水墨画を始められてから7年ほどで、枕崎の風景にこだわって描き続けています。「水墨画は一度失敗したらまた一からやり直し。難しいが奥が深いし、一色でいろんな表現ができるから楽しい」と水墨画の魅力を語ってくれました。

市民協働だより No.1



■昨年12月に「市民協働によるまちづくりを進めるための指針」を策定しましたが、聞き慣れない「市民協働」という言葉をもっと皆さんに知ってもらうために、今月から連載します。ここでは、まちづくり、地域づくりのために役割と責任を持った活動を行っている団体等を中心に紹介していきます。

ボランティアグループ「響(ひび)き」

▶グループでは、会員の趣味と特技をいかした手芸品や菓子などを作り、各種イベントの際に販売をしています。また、販売の際には、「ピアノ基金」の協力もお願いしています。

当面の活動目的は、この販売利益とピアノ基金を市民会館のグランドピアノの買換え等の費用として市に寄付することです。

▶まくらざきハーモニーネットワーク委員会にも属し、積極的に委員会の活動に参加する一方で、会員は独自に公共施設のトイレ清掃のボランティアを行うなど地域づくり、まちづくりのために幅広く活動を行っています。



▲ハーモニーフェスティバルであいさつする片山弘子代表。ハーモニーネットワーク会長も努められています。

美しく花開いています!

大塚菊生産者のお嫁さんたちで作る『シンデレラ倶楽部』紹介します



▼メンバーたちは「菊を今後、様々な用途に使用してもらえようPRしたり、大塚産の菊として付加価値を高められようようにしていけたら」とやる気十分。会の世話係でもある県農業普及課は「女性の感性は、昔の農業経営に携わってほしかった」と、本市の基幹産業を担う彼女たちの活躍に期待していました。

▼シンデレラ倶楽部は、楽しく仲間づくりをしながら農業経営に参加する一員として力を発揮できるよう、花き栽培の知識などについて学ぶことを目的とした女性たちのグループ。後継者のお嫁さんなど会員は12名です。県主催の女性たちを対象とした研修会に参加したのが結成のきっかけで、美しく咲く女性が対象としたり、各付きました。▼これまで、フラワーアレンジ講習や先進地視察、農業の基礎知識についての勉強会を行っており、3月には霧島市などを訪れ、結婚式に使う観葉植物などの生産を学ぶなど勉強熱心です。また、週末には、ソフトバレーボールで汗を流しており、菊の品種や病気などの情報交換のほか、育児についても相談し合える貴重な場となっています。